



- ごみの減量化・資源化を——2～3
- お知らせ——8～9
- 平成6年度国民健康保険——4～5
- 公民館だより——10～11
- 総合スポーツゾーンの整備が進む——6
- わだい——12
- ロバート先生の後任にジョワナ先生——7



安全運転を
 お願いします

夏の交通事故防止県民運動期間中の7月29日、町交通対策協議会では、宮城県との県境の国道において、テント村作戦を実施し、道行くドライバーに安全運転を呼びかけました。



私たちの工夫と心がけて

ごみの減量化・資源化を

年々増え続けるごみ……生活の豊かさを表わすバロメーターなどと言ってはられない厳しい現実に向直しています。大量消費に伴って発生するごみは、今や深刻な環境問題へと発展してきます。

ごみの減量化・資源化に向けて、様々な行政施策が講じられ、また腐るプラスチックの開発が行われるなど、ごみの問題は、二十一世紀を生きる私たちに課せられた大きなテーマとなっています。



皆さんの家庭から出されるごみは定期的に収集されます

ごみの処理には

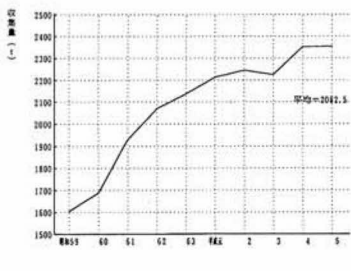
膨大な費用が

五千三百四十七万円。この数字は、平成六年度に国見町がごみ処理のために予定しているお金です。

内訳は、一般廃棄物粗大ごみ収集業務委託料が千八百六十万円。伊達地方衛生処理組合負担金が三千四百八十七万円（ごみ焼却施設建設費負担金千七万三千円含む）です。

これを一日当たり換算すると約十四万六千五百円。町民一人当たりでは年間約四千五百円になります。

ごみ収集量の推移



増え続けるごみ

私たちの毎日の生活から一体どれくらいのごみが出るでしょうか。

ごみには、私たちの生活から出される家庭ごみと、工場、商店、飲食店等の事業所から出される営業ごみとがあります。

平成五年度の国見町が委託収集している家庭ごみの量は、可燃ごみが千八百八十二ト、不燃ごみが四百六ト、粗大ごみが六十六トの合計二千三百五十四トで、十年前の約一・五倍にものぼっています。(グラフ参照)

平成五年度のごみの量は、一

日平均で約六・四五ト。町民一人当たりの年間のゴミの量は、約二百kgにもなります。

ごみの量に応じて

ごみ処理のために伊達地方衛生処理組合へ納入する負担金は、平等割とごみの収集実績割によって定められ、平成四年度から収集実績割は、負担金の九割となっています。

収集実績割とは、ごみの量に応じて負担金を定めるシステムです。ごみの量が減れば、負担金も少なくて済むのです。

町民と行政が

一体となって

豊かさだけが、私たちの生活にとって大事なことはありません。私たちの周りが住みよい環境であること、住みよい地域であることが重要です。

住みよい環境をつくっていくのは、行政の役割でもあり、町民一人一人の務めでもあります。私たち一人一人の工夫と心がけて、ごみ問題を解決していきたいものです。

ごみの減量化のために

こんな事業を行っています

◆資源回収団体報奨金交付事業

資源（空ビン、アルミ缶、古紙等）を回収した団体に対し、ごみの量1kg当たり5円を交付しています。

◆生ごみ処理容器設置費補助事業

家庭から生じる台所生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器（コンポスター）を設置する方に対し、購入費の半額を補助しています。

○190ℓ 補助額 2,700円 ○230ℓ 補助額 3,150円
コンポスターは町で準備します。

■問い合わせ

国見町役場保健課保健衛生係 ☎85-2111 内線 141

平成六年年度の河川クリーン・アップ作戦が、七月三日の早朝から町内一円で展開されました。（石母田地域では、六月二十六日に実施）

各町内会ごとに、町内を流れる滝川、普蔵川、牛沢川をはじめ、中小河川などに捨てられた空き缶、紙屑、廃材等のごみの回収、流木の除去、堤防等の雑木、雑草の刈り払い等の作業が行われました。

また、路肩の雑草の刈り払いや、道路の側溝の清掃も行われ、町内の河川や道路は、見違える



早朝からクリーン・アップ作戦が展開される



川底の雑草の除去も行われました

ふるさとの川を美しく
町内一円をクリーン・アップ

ように美しくなりました。

クリーン・アップ作戦によって集められたごみは、町土木建設業協会の皆さんの協力により、処理場まで運搬されました。

今年、集められたごみの量は、燃えるごみが六・二四ト、燃えないごみが五・〇六トの合計十一・三〇トにもはり、昨年と比較して、二・九トの増になりました。

クリーン・アップ作戦に参加していただいた皆さん、本当に御苦労様でした。



国道のごみを拾う県北中生徒の皆さん

県北中学校（斎藤一哉校長）の生徒会では、例年「クリーン・キャンペーン」を実施しています。今年は、七月五日、期末テスト終了後に行われました。

「ごみを捨てないで」 県北中でクリーンキャンペーン

「クリーンキャンペーン」は、ただごみを拾うだけでなく、ごみを拾うことによって生徒の皆さんに、いかにごみが多いかを認識してもらおうと同時に、ごみを捨ててはいけないということ、ごみを自覚してもらい、そして、町の人たちにもごみを捨ててはいけないということと呼びかける行事です。

全校生徒は校舎正面玄関前で開会式を行った後、それぞれの分担当所のごみ拾いやトイレ掃除、カーブミラー磨きを行いました。

町内八カ所に集められたごみは、ライオンズクラブの皆さんが、処理場まで運搬しました。



河川の法面の草刈りが行われる

平成六年度国民健康保険

国保税率を改正

私たちにとって、健康で明るく生活できることは何よりも幸せなことです。しかし、いつなんどき病気にかかったり、思わぬけがをしないと限りません。

そのような時に、医療費を全額自分で負担するのでは、生計が心配で治療に専念するどころではありません。

国民健康保険（国保）は、加入者の収入等にに応じて、保険税を出しあい、いざというときに備え助けあおうという「相互扶助」を目的とした大切な制度です。



基本健康診査を上手に活用して自分の体は自分で管理

健康管理を行い

国保税の負担を少なく

国民健康保険の保険税率が、今年も改正されました。

国保税は、町全体の加入者のその年に予想される医療費から、国からの補助金等を差し引いた残りの分となります。

平成六年度の国保税は、二億四千二百二十万六千円です。

医療費が少なければ、負担すべき国保税も少なくて済みます。検診、人間ドック等を上手に活用して健康管理を行い、安心して楽しく生活されるよう願っています。

国保税の納入も

口座振替制度を

国保税は、皆さんが安心して医療を受けるための大切な財源です。この財源を大切に使うことはもちろんですが、納期内完納にご協力くださるようお願いいたします。

国保税の納入にも、口座振替制度がご利用になれます。

口座振替制度の利用手続きをする、納付期日に合わせて、あなたの指定の口座から自動的に納付されますので、納め忘れということがありません。また、納期ごとに金融機関へ行く必要がありませんので、多忙な人には大変便利です。

口座振替の申し込み用紙は、町内の指定金融機関の窓口で備えられていますのでご利用ください。

国見町における平均国保税 (一世帯当たり)

- 所得額 1,700,000円
- 課税標準額 1,390,000円
- 固定資産税 64,000円

所得割 53,793円 ($1,390,000 \times \frac{3.87}{100}$)

資産割 15,820円 ($64,000 \times \frac{24.72}{100}$)

均等割 53,721円 ($20,662 \times 2.6$)

平等割 24,872円 (1世帯当たり 24,872円)

計 148,206円

※ 最高課税限度額 500,000円

平成6年度 国保税税率

区	分	課税割合	税率	前年度税率	対比
応能割	所得割	42%	3.87%	3.44%	112.5%
	資産割	10%	24.72%	23.77%	104.0%
応益割	被保険者均等割	33%	1人当たり 20,662円	1人当たり 19,064円	108.4%
	世帯別平等割	15%	1世帯当たり 24,872円	1世帯当たり 23,519円	105.8%

「人間ドック」で健康チェック

町では、国民健康保険被保険者を対象に、入院人間ドック（一泊二日）、日帰り人間ドックを実施します。

年に一回行われている健康診査では、各種の検査項目の最低限の検査を受けることになりませんが、人間ドックは多くの項目を検査する点で検診と異なります。

成人病の早期発見と予防のために、人間ドックを利用して総合的検診を受けることをお勧めします。

◇対象者

国見町国民健康保険の被保険者で六十九歳までの方。

◇申し込み方法・期限

九月一日から受け付けます。料金を添えて九月九日までお申し込みください。

■問い合わせ・申し込み

・保健課国保係
☎052111 内線143

人間ドック実施内容

	入院人間ドック	日帰り人間ドック
検査	平成6年10月～平成7年3月	平成7年1月～平成7年3月
期日	毎週火・木曜日	毎週水・木曜日
検査場所	公立藤田総合病院	
検査項目	身体測定・呼吸器系検査・肝機能系検査・糖尿系検査 胃腸系検査・胆のう機能検査・腎機能系検査 循環器系検査・血液検査・ガン（乳・子宮・大腸）検査	
自己負担	1割 5,600円	1割 2,500円
定員	100名（申し込み順）	100名（申し込み順）
持参するもの	国民健康保険者証	

老人保健の医療費

七十歳（寝たきりの方は六十歳）以上のお年寄りの方が、お医者さんにかかる場合には、「老人保健」という制度になります。

老人保健制度は、お年寄りの方が安心して医療が受けられ、健康な毎日を送ることができるよう、医療費負担を軽くすることを目的としています。

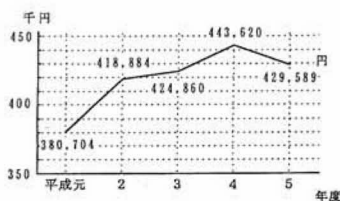


健康管理に心掛け毎日楽しく過ごしましょう

医療費は

老人保健で医療を受けたときの一部負担金は、外來の場合、

1人当たりの医療費の推移（表Ⅰ）



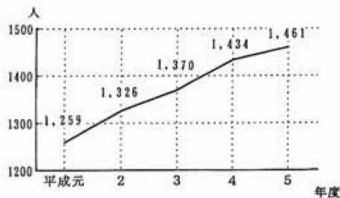
これを一人当たりすると約四十二万円（表Ⅰ）となっています。前年度に比べて三・二%の減少ですが、元年度と比べると約十三%も伸びていることになります。

一つのお医者さんにつき毎月千円。入院の場合、入院期間中一日に対し七百円です。一部負担金を除いた医療費は、国保税や会社で納める社会保険料からの交付金と国・県・町の補助金で賄われています。

一人当たりの老人医療費は42万円

平成五年年度の町老人医療費の総額は六億二千七百六十三万円です、前年度に比べ一・三%の減となりました。

平均受給者数の推移（表Ⅱ）



健康づくりで医療費上昇にストップ

医療費の増加は、保険税や自己負担金の値上げとなり、結局私たち自身の負担になってきます。

普段から健康管理に心掛け、毎日楽しく豊かに過ごしたいものです。

また、同じ病気でいくつも違うお医者さんにかかるのは、医療費のむだ使いにもなります。同じお医者さんの診療を受け、話しをする機会を多くした方が本当の治療になるのです。

毎日の健康づくりで、医療費の上昇にストップをかけましょう。

総合スポーツゾーンの 整備が進む



上野台運動広場の建設が進む

て取り組んでいるものです。
上野台運動広場が完成すると、既存の勤労者体育センター、テニスコート、町民プールと併せ、上野台地区は、文字通り総合スポーツゾーンとして活用されるように整備されます。

施設の概要

多目的運動広場には、四百メートルトラックが設けられるほか、フィールド部分はサッカー場として、運動広場のコーナーは、野球場（二面）、ソフトボール場（四面）として利用できるような整備されます。

四百メートルトラックで自己の記録に挑戦してみたい……。整備のゆきとどいたサッカー場で思い切りボールがけられたら……。もうすぐ、そんな夢が実現します。

今国見町では、上野台地区に陸上競技、サッカー、野球、ソフトボールなどの各種スポーツに多目的に利用できる運動広場の整備を進めています。

「上野台運動広場建設事業」

として建設を進めているこの事業は、自治会のふるさと創生事業・第二次ふるさとづくり事業の指定を受け、平成五年度から平成七年度までの継続事業とし

現在、平成七年九月末完成に向けて急ピッチで工事が進められており、工事の進行状況は、約六十五パーセントです。
六月に附帯工事（照明塔、防球ネット、バックネット、ダックアウト、ベンチ、スコアボード等の設置）を、七月に、管理棟の建設工事を発注したところ

観月台文化センターに 彫刻「蟬」を展示



富永町長ら4人が彫刻「蟬」の除幕を行う

富永武夫町長、彫刻の作家土谷武さん、(株)本間利雄設計事務所社長、安藤建設(株)鎌形昭東北支店長の四人が除幕を行い、彫刻「蟬」が顔をのぞかせると、出席者から拍手が沸き起こりました。
作品は、観月台文化センターの工事を担当した安藤建設(株)東北支店が、同センターの完成を記念し、町に寄贈したものです。
観月台文化センターの設計を行った本間利雄設計事務所が、彫刻界の第一人者土谷武さんを紹介。土谷さんは、同センターに二度足を運び、自己の作品の中から、文化センターにふさわしいものとして「蟬」を選んだ。

土谷さんは、日本の野外彫刻の展開に重要な役割を果たしている方で、これまで数多くの賞を受賞しています。現在は、日本大学芸術学部美術学科教授を務めています。

抽象彫刻「蟬」は、耐候性のあるコルテン鋼でできており、重さが約四十五キログラム、茶かつ色で重量感のある作品。台座はアフリカ産の御影石。

土谷さんは、昆虫や鳥、植物をテーマに彫刻に取り組んでおり、「蟬」は、幼少の頃、蟬を捕って遊んだ思い出を抽象表現したものです。

観月台文化センター玄関ホール正面に展示する彫刻ができあがり、七月十二日、同センターにおいて、関係者二十名が出席して、彫刻の除幕式が行われました。

九年連続知事感謝状 個人県民税収納成績優良町村



知事感謝状の伝達が行われる

国見町は、平成五年度の個人県民税収納成績優良町村に選ばれ、福島県知事から感謝状が贈られました。

伝達式は、七月二十九日、役場町長室で行われ、県北地方振興局山口恒雄県税部長から、富永武夫町長と八島新太郎町納税貯蓄組合連合会長に感謝状と記念の盾が手渡されました。

国見町が優良町村に選ばれたのは、今年で九年連続です。

この度の受賞は、町民の皆さんのために、納税貯蓄組合長さんの税に対する深いご理解と協力のたまものであり、深く感謝申しあげます。

工事の進行状況は

65パーセント

ロバート先生の後任に ジョワナ先生



送別会であいさつを述べるロバート先生

の皆さんから親切にしていたのだということが、一番うれしい思い出として残っています」と流ちょうな日本語であいさつされました。



ジョワナ先生

昨年八月から今年の七月までの一年間、英語指導助手として、県北中学校の英語指導に当たっていたロバート・ウィリアム・ベンダー先生の送別会が、七月二十一日、JA福島国見町会館で行われました。

関係者約三十名が出席して行われた送別会では、富永町長が、「一年間、英語指導と国際交流に活躍していただき御苦労様でした」とお礼の言葉を述べたのに対し、ロバート先生は、「思い出はたくさんあるが、国見町

ロバート先生の後任の英語指導助手には、バイクフワト・ジョワナ・エリザベス先生が、七月二十七日に着任、向こう一年間県北中学校で英語指導に当たります。

ジョワナ先生は、ロバート先生と同じく国見町の単独招致。英国ウィルシェア州マルメスベリー出身の女性で、オクスフォード大学哲学科心理学科の卒業です。

買い物先や街角で見かけたら、気楽に声をかけてください。

光センサー選果機が稼動 ミスピーチがセレモニー



光センサー選果機の稼動を祝いテープカット

います。

光センサー選果機の稼動式が、七月二十五日、関係者約八十名が出席して国見町農業協同組合共選所で行われました。

高値販売祈願の神事の後に行われた稼動式では、菊地太三組合長が、「生産者と共に高品質の桃づくりに取り組みたい」とあいさつ、来賓の富永武夫町長らが祝辞を述べたのに続き、出席者が見守る中、菊地組合長ら六人が事業の成功を願ってテープカットしました。

選果開始セレモニーでは、菊地組合長が、光センサー選果機の始動ボタンを押し、選果機が作動すると、お祝いに駆けつけた五人のミスピーチが、実際に桃の選果を行い、盛んにカメラのフラッシュを浴びていました。

は、年金保険料収納の目安となる検認率が県下九十市町村中、第一位の成績を収めることができ、七月二十七日、国見町農協会館で報告会が開催されました。

報告会は、町議会議員、国民年金組合長ら七十五名が出席して行われ、富永武夫町長が、町の国民年金の概況報告を含めてあいさつを行い、来賓を代表して、蔵本敏美県国民年金課長、仲野周一町議会議長が、祝辞を述べました。

報告会の席上、今年の三月に退職された前年金係長の佐藤幸子さんに富永町長から感謝状と記念品が贈られました。

報告会後は、仙波功東北福島社会保険事務所長の乾杯の発声に続き、出席者は和やかな雰囲気の中で懇親を深めました。

国民年金の検認率が 県下一に

平成五年度における国民年金事業概況が発表され、国見町で



検認率県下1位達成の報告を行う富永町長

県北浄化センターを

見学してみませんか

「全国下水道促進デー」事業として、浄化センターの見学会が行われます。

浄化センター内地下管廊、管理棟、スクリーンポンプ棟、水処理施設等の処理施設、建物、下水道PR展示物がご覧になれます。

◇日時

九月七日(例)午前10時～15時

◇場所

国見町大字徳江字上悪戸地内阿武隈川上流流域下水道県北浄化センター

●見学者には、下水道PR用の記念品が贈られます。

■問い合わせ

●県北流域下水道PR委員会
☎542011

下水道への理解を

ふくしま

下水道フェア'94

下水道は、河川、湖沼、海などの公共用水域の水質汚濁防止のために重要な役割を果たすとともに、住民の安全で快適な生

活を確保するために必要不可欠な公共施設です。

しかし、福島県における下水道普及率は、平成五年度末現在で十九・七％と大きく立ち遅れている現状にあります。

そこで、県民の皆さんに、ふだんあまりふれることのできない下水道に対する理解と関心を深めてもらい、これからのまちづくり、あるいは、快適環境づくりの柱となる下水道の普及促進を図っていくことを目的として、全国下水道促進デー(毎年九月十日)福島県キャンペーンの一環として、「下水道フェア'94」が開催されます。

◇日時

九月九日(例)～十一日(例)

10時～18時三十分

(最終日は午後五時まで)

◇場所

福島ルミネ五階「ネクストホール」、「オークルーム」

◇内容

●下水道に関するパネル、模型、機器等の展示。

●下水道相談室の開設。

●無料金魚すくい、ふうせん、わた菓子プレゼント。

●来場者には記念品プレゼント

もありません。

◇入場料 無料

■問い合わせ

●福島県土木部都市局下水道課
☎0275144または027515

検察審査会を

ご存知ですか

子供が交通事故で大ケガをした。でも車を運転していた人は、裁判にもかけられずにいる。おかしい……そんな疑問に検察審査会は答えます。

検察審査会は、選挙権のある一般国民の中から「くじ」で選ばれた十一人の検察審査員が、市民の目で、検察官の不起訴処分(裁判にかけなかったこと)が正しいかどうかを審査することを主な仕事としています。検察官の不起訴処分に疑問をお持ちの方はご相談ください。

■詳しくは

●福島検察審査会事務局
福島市花園町5-45
福島地方裁判所内

☎0242156 内線274



戸籍の窓口

(7月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
知明(ともあき)	佐藤 照男	滝山
梢(こずえ)	瀬戸 正志	中部
俊彰(としあき)	佐藤 俊一	石母田東
豊(ゆたか)	八巻 純一	滝山
葉々海(ななみ)	小池 克則	第3

7月中に婚姻届はありませんでした。

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
長谷川 貞男	68	高城
佐藤 ツル	87	第2
星野 ヨシ	83	光明寺
阿部 和平次	71	石母田北
松田 トク	78	貝田
羽賀 トキワ	91	駅前
渡邊 正一	70	太田川
山口 トキヨ	80	貝田
沼田 次郎	89	宮町北

角田ロケット開発センターの一般公開のお知らせ

日時	9月11日(日) 午前10時～午後3時30分
場所	宇宙開発事業団 角田ロケット開発センター 角田市神次郎字高久蔵1 ☎0224(68)3211
公開施設	管理棟内展示室及び試験設備
映画上映 催し物	約30分 ●宇宙教室 ●パソコンによる宇宙服姿の写真撮影プレゼント ●模型ロケットの打ち上げ ●空気ロケットの打ち上げ ●風船進呈

「存じですか!!」

「建設業退職金共済制度」

建設業退職金共済制度は、国が昭和三十九年十月に建設業の労働福祉対策の一環として、中小企業退職金共済法に基づき創設したものであり、その実施運営は、特殊法人建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合が当たっています。

この制度の特長は、一般の退職金制度とは異なり建設業界で働く限り、事業所を変わっても、事業所に雇用され就業した期間全部を通算して退職金を支払うという、業界退職金制度であり、掛金納付は共済契約を結んでいる事業主が、加入労働者の共済手帳に就労日数に応じて証紙(掛金)を貼付、消印することにより行われます。

現在、全国で十三万八千事業所、百八十八万六千人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積み立てが行われ、すでに六十九万人の労働者が退職金を受け取り、その額は二千七百七十七億円を超えています。

■詳しいことは

- 建退共福島支部
- 福島市五月町4-25
- 福島県建設センター内

☎ 231618

「自賠責 小さなシールド」 大きな安心

今年も無保険(無共済)バイク対策協議会(総務庁、警察庁、大蔵省、農林水産省、運輸省等)では、九月一日から九月三十日まで「無保険(無共済)バイクをなくそうキャンペーン」を行います。

二百五十CC以下のバイクには車検制度がないこともあって、自賠責保険(共済)の継続契約をつい忘れがちです。小さなバイクだからといって「油断は禁物」、バイクの起こす人身事故も軽視はできません。無保険(無共済)で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

また、バイクにも自賠責保険(共済)への加入が法律で義務づけられており、無保険(無共済)で走ると、六カ月以下の懲役、または五万円以下の罰金、さらに違反点数六点となり、免許停止処分となります。

もし、契約切れになっていたら、最寄りの損害保険会社、代理店(バイク・自転車店、コンビニエンスストア等)、農協へ行きましょう。



防災週間
(8月30日～9月5日)

人口と世帯

8月1日現在(前月比)7月中の動き

人口	男 5,729人(+6)	転入 27人
	女 6,144人(+6)	転出 11人
	計 11,873人(+12)	出生 5人
世帯数	3,077戸(+5)	死亡 9人

8月 葉月(はづき)

- 19日(金) バイクの日
- 23日(火) 処暑
- 30日(火) 防災週間
建築物防災週間

9月 長月(ながつき)

- 1日(木) 二百十日
防災の日
- 9日(金) 救急の日
- 10日(土) 全国下水道促進デー
- 15日(木) 敬老の日

観月台文化センターホールでの催し案内

◇福島市民オーケストラ「ファミリーコンサート」

曲ごとに解説を加え、わかりやすく楽しいコンサートです。

親子そろっておいでください。

◎9月4日(日) 14:00～

●料金無料

◇町村合併40周年記念「歌でつづる国見町の歩み」

国見町の40年をナレーション、スライドと流行歌で振り返ります。

◎9月11日(日) 昼の部 14:00～

夜の部 18:00～

唄 クリソツツ

演奏 安田智彦グループ

●料金無料 整理券要

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(東側入口からお入りください)

時間: 9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談員

8月25日(木)	高橋 隆	雄・後	アヤ
9月5日(月)	村 正	正・村	ミチ子
9月14日(水)	桜 沢	正・井	砂 喜代子

こよみ

阿津賀志学級 有意義だった

「心と体の健康」講演会

去る七月十二日、午後一時半から文化センター大研修室において、「高齢者の心と体の健康」と題しての講演会が開かれました。



▲熱心に講義を聴く阿津賀志学級生

講師は公立藤田総合病院院長代
理朽木渉先生で、先生からは、
次のような有意義なお話があり、
出席した学級生は感銘を深くし
ました。

「病は気から」とよく言われ
「健全な肉体と精神」の保持
を常に心がけ、夢と希望といき
がいを持って社会生活を送るこ
とが何より大切であることを肝
に銘じたいものです。

そのためには、適度な運動で
肉体、生涯学習を通しては精神
の鍛練と開発を図り、健全な肉
体と精神を養うことが肝要であ
る。

聞き古した言葉に「健全なる
精神は、健全なる身体に宿る」
とありますが、現代人間社会で
も蓋し名言といわざるをえない
のです。

「急激な社会の進展と多様な
価値観・核家族化の進む社会構
造の変化等は、私達高齢者の社
会生活にも様々なストレスを与
える高年齢の心身症が急増してい
るといわれています。ストレス
の起る要因と解消方法をよく
理解して、安定した精神生活を
送る術を身に付けておくことが
高齢化社会を生き抜く上でとて
も大切です」とのお話で結ばれ
ました。

蛤山登山に挑戦

ジュニア仲間づくり教室

県北中学校一、二年生男女
二十九名は七月二十一日ジュニ
ア仲間づくり教室の開講式を行
い、班編成やキャンプの準備を
しました。

七月二十七日、午前八時三十分
分観月台文化センター前を出発、
角田宇宙開発センター、船岡公
園、白衣観音を見学の後、七ヶ
宿町の南蔵王青少年旅行村のキ
ャンプ場に入りました。夕食の
班ごとに事前に献立をつくり、

カレーライスや焼き肉、焼きそば
などそれぞれ楽しい食事をしま
した。夜は翌日の登山に備えて
ゆっくりに休みました。

二十八日、快晴、お昼の弁当
を作ってから、朝食をとり、後
片付けをして荷物を車に付け、
十時二十分、蛤山に向かって出
発しました。

蛤山はキャンプ場から西へ登
ること約四・八キロ、標高九八
一メートル、頂上付近には、ぶな
の原生林があり、すばらしい自
然が残されています。

出発してから登山口までは広
い林道を二・八キロ登っていき
ます。そこで小休止をとり、い
よいよ本当の登山になります。

狭い急な道を息を弾ませて登り
ました。はじめは元気だった足
もだんだん重くなり、汗はした
たり落ちます。少し足を止め、
一息入れます。まわりのすばら



▲盛り付けもていねいに……

しい緑と自然が私たを元気づけ
てくれました。何回か登ったり、
下ったりして、やっと頂上につ
きました。せつかく登って下り
道になるとほっとしますが、が
っかりもします。このままずつ
と平らだったらいののと思っ
てしまいます。頂上は霧が深く、
山あふがなくて、刺された人も
いました。せつかくぶな林も
ゆっくりに観賞できました。キャ
ンプ場に戻り昼食を食べ、冷や
しておいた西瓜を食べました。
本当においしい西瓜でした。午
後二時半、迎いのバスに乗り帰
途につきました。

帰りのバスの中から、今登っ
てきた蛤山が見え、頂上はやは
り雲に隠れていました。あそこ
までよく登ったものだと思っ
て感心しました。

三時十分文化センターに到着、
閉講式を行って解散しました。

子育てコーナー

家庭教育講座

「心」を育てる

七月十二日、藤田幼稚園の授
業参観において、伊達東小学校
の大槻太校長先生の講演があり
ました。



▲藤田幼稚園で開かれた家庭教育講座

若いお母さんたち七十名が、先生のすばらしい内容のお話に、吸いこまれるように聞き入っていました。お母さんがたからは「あらためて子供のいる生活のすばらしさや、子供自身のすばらしさに気付くことができてよかった」「感動的なお話で、あっという間に時間が過ぎてしまった」とお話をお聞きいただき、「た」などの感想や要望がありました。

先生のお話の概要

- 体は育つが、心は育てていかなければならない。心は先に育ち、頭は後から育つ。
- 三歳までに、頭脳の発達は大人の七〇～八〇%になる。
- お母さんの教育目標を考えてみる。「人柄と心」を育てる。優しい心、勇気、進んでやる。
- 頭の良い子に重点をおきやす。ピアノ、そろばんなどの塾。

七月六日、十九日の両日、く

若々しく いつまでも

漢字や教を教えるなど親のおしつけが多い。「お」をとって本当のしつけをしなければならぬ。

- 親子の関係は「タテ型思考」でなく「ヨコ型思考」（私は母親だ）はタテ型思考、（五歳の子供なら母親も五歳になる）これがヨコ型思考。このように子供に接して行く、子供の心は育ち、自立して行く。親も自分を育てて行く。
- 快動の大切さ、体と心を快く動かす。快動、快食、快眠。楽しく食べることは、心を育て栄養にもなる。
- 仕事を手伝う。おもしろがらせて、楽しくやらせる。（手伝うことを気付かない子供が多い）
- 聞くことと言葉の発達、子供のいうことを良く聞いてやる。これが、話す意欲を増し、言葉の発達につながる。聞く「聴く」耳プラス目、心でさく。
- 子供の目の高さでみる。瞳をみつめる。「お母さんの目になたが映っているよ」
- なくても与える。心であなたを救う。（マザー・テレサ）

にみ女性教室で前福島市社会教育指導員の佐藤キイ先生の指導で、健康づくり学習が行われました。

一日目は、「心の健康づくり」と題して、「健康でいつまでも若々しく、生きがいのある生活を維持するためには、常に「見る」「見る」「見る」「見る」の五つの見方で自分をみることに、また、常に新しいことに挑戦する意欲をもつことが大切」などの講義をいただきました。

二日目は、体育館で「簡単にできる健康体操」ということで講義の後、割ばし、折り紙、タオルを使用して、頭も体も若返る指先体操やフックダンスなど二時間たっぷり体を動かしました。二十七名の参加者は暑い中にもいい汗を流していました。



▲女性教室の「簡単にできる健康体操」

行事のお知らせ

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
8	18	木	平成6年度国際青年交流村事業（～23日）		9	7	水	町村合併40周年・観月台文化センター落成記念	
	19	金	子育て教室（町民プール）			8	木	子ども移動図書館（森江野小）	
	26	金	子育て教室			9	金	子ども移動図書館（大枝小）	
	30	火	阿津賀志学級（郷土の文化財）		10	10	土	少年仲間づくり教室（自然観察）	
9	1	木	町村合併40周年・観月台文化センター落成記念			10	土	ふれあい交流キャンプ（～11日）	
			町長杯ナイターソフトボール大会			11	日	歌でつづる国見町の歩み	
	2	金	阿津賀志学級（書道）					子育て教室（戸外活動）	
	4	日	福島市民オーケストラ公演			12	月	子ども移動図書館（藤田小3年）	
	5	月	子ども移動図書館（小坂小）			14	水	くにみ女性教室（電気教室Ⅱ）	
	6	火	阿津賀志学級研修旅行（～7日）						

森江野小児童が

下水道施設を見学

森江野小学校(渡部正俊校長)では、下水道に対する理解を深めるため、七月十九日、徳江地区内の下水道施設を見学しました。

五班に編成された全校生は、浄化センターのポンプ棟や、水処理施設、管理棟本館などを見



管渠内を歩き歓声を上げる児童たち

学し、県北流域下水道建設事務所職員の親切な説明に聞き入っていました。

また、ポンプ棟に通じる処理場敷地内の管渠(坑内)約二百四十メートルを実際に歩いて通りぬけ、施設の規模の大きさに驚くと共に、施設を見学したことに、下水道に対する理解と関心を深めています。

羽根実佳子さんに

山形県教育委員会賞

羽根実佳子さん(藤田小一年)が、このほど大ケヤキ全国書道絵画展の絵画教育の部で、大人も子供も含めた中での上位から六番目にランクされる特別賞の山形県教育委員会賞を受賞しました。



特別賞を受賞した羽根実佳子さん

大ケヤキ全国書道絵画展は、

山形県東根市の主催で毎年開催されており、今回が五回目。今年、全国各地から三千五百六十点の作品が出品されました。羽根実佳子さんは、「小さな画家の家」(石原晃雲主宰)で、週一回の指導を受けています。今回の受賞となった作品は、家族でスキーに行った時の楽しい思い出を描いた水彩画です。

国見歌謡祭で

自慢の歌声を披露

国見歌謡連合会(佐久間靖明会長)の主催による国見歌謡祭が、七月十日、国見町親月台文化センターホールにおいて開催されました。

町内外から会場に訪れた大勢の歌謡ファンは、次々に披露さ



次々に自慢の歌声が披露された歌謡祭

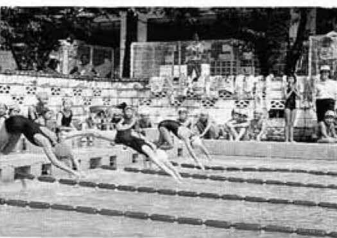
れる七十八名の参加者の自慢の歌声に拍手を送り、ゲスト出演したキングレコードの幡千恵子さんと北川裕二さんのプロの歌声を堪能しました。

歌謡祭での収益金と会場を訪れた皆さんからのチャリティ募金など二十五万七千三十六円が、町社会福祉協議会に寄せられました。

プールサイドに熱い声援

小学校水泳交歓会

国見町小学校水泳交歓会が、七月二十七日、藤田小学校プールで開催され、町内四校の小学校六年生が、水泳競技を通じてお互いの交歓を深めるとともに、自己の記録の更新を目指しました。



記録の更新を目指しプールに飛び込む児童

当日は絶好の水泳日和に恵まれ、真黒に日焼けした小学生の皆さんは、全員が参加する二十五メートル自由形や選手種目の各競技、二百メートルリレーに持てる力を存分に発揮して泳ぎました。

プールサイドには熱い声援が飛び交い、参加者は小学校時代最後の夏を満喫していました。

知らない土地で親切にしてもらったことは、素晴らしい思い出として残り、その土地のイメージアップにもつながります。

国見町に転入してきた人や国見町を訪れる人に、親切に接することができるよう日々心掛けたいものです。

(S)

発行・編集 国見町総務課

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目二.2の1

☎969-17

☎0245 (85) 2111 F A X 0245 (85) 2181

編集
日記